

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	69	地方公共 団体名	大阪府	消防団名	
担当課	消防学校教務課	連絡先	Tel 072-872-7152 E-mail lkeuchiY@mbx.pref.osaka.lg.jp		
事業名	消防団の自然災害対応力向上事業				
事業詳細					

○ 事業の目的・必要性

【目的】

近年、風水害や地震等の自然災害を中心とする災害が全国各地で多発化・激甚化するなか、消防のみならず、消防団員に求められる対応も大きく変化している。地域住民の安全を担っている消防団員は火災以外の災害発生時に活動が求められることから、あらゆる自然災害に対応できる知識と技術の習得を目的とする。

【必要性】

消防団員が住民の避難誘導・支援や、逃げ遅れた方の救助を実施するなど、消防団が果たす役割は多様化しています。こうした活動を安全に実施するためにも、風水害や地震、豪雨等、火災以外の災害に対応する訓練の重要性がますます高まっている。

○ 事業内容

令和4年度消防団員教育の各課程カリキュラム(初級指導課程、現場指揮課程)に自然災害対応訓練を追加するとともに、消防団員救助用資機材技術講習(消防庁主催)の機会を活用し、大阪府立消防学校内の水防訓練施設において胴長靴を着用し泥土歩行訓練、チェーンソー、チャップスを使用した倒木除去訓練、墜落制止用器具(フルハーネス)の着装訓練を行った。

また、分団指揮団員を対象とした分団指揮課程と併せて同訓練実施結果説明会を実施した。

○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
①講習会 ②説明会	実施回数	① 3回 ② 1回	① 4回 ② 1回	達成率 133% 達成率 100%
参加人数	人	① 610人 ② 80人 計 690人	① 307人 ② 70人 計 377人	達成率 50% 達成率 88% 達成率 55%

※本府予算都合により、当初予定していた基礎教育(2回・500人)における実施を見送ったものの、効率的かつ効果的な実施により、当初想定した教育効果は十分発揮できた。

なお、当初の予定どおり教育を実施した場合、その延べ人数は877人・達成率127%であった。

○ 事業成果

今回の取組みである、泥土歩行訓練、チェーンソー取扱い訓練及びフルハーネス装着訓練を通じて、各地域の消防団の相互の連携を図るとともに、消防団員に自然災害に対応できる知識と技術を習得させることができた。

○ 事業実施状況（写真）



その他参考  
情報

※URLの記載などをお願いします。